

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	C o + w o r k II A	
科目基礎情報							
科目番号	0010		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		3		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	各チームの活動の内容に応じて適宜使用する。						
担当教員	全教員						
到達目標							
主体性や自己管理能力が身についている 他者を尊重しながらチームで作業ができる 情報を収集・整理して課題を発見し提案することができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	他人と予定を調整しながら自分のスケジュールを立てて動き、状況に応じて見直しをかけることができる		自分が立てたスケジュール通りに動くことができる		できない		
評価項目2	自分と意見の異なる人の意見を受け入れ、自分の意見も述べながら、チーム全体を合意形成に導くことができる		自分と意見の異なる人の話を聞いたうえで、適切に自分の意見を言うことができる		できない		
評価項目3	自主的に情報収集することができ、整理しまとめ、自分の意見を加えて他人に説明することができる		自分のアイディアを出すことができる		できない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (B) 学習・教育目標 (E) 学習・教育目標 (G)							
教育方法等							
概要	自立、協働、創造の能力を養成することを目的とし、他学科・他学年の学生と活動に取り組む。チームで取り組んだ活動についての報告会での報告や振り返り会を経て、活動計画の修正を行いながら、学習を進める。						
授業の進め方・方法	(1) 個人の取り組み 80% (自立 (40%) + 協働 (40%) + 創造 (20%)) (2) チームの取り組みと成果 20% (協働 (50%) + 創造 (50%)) 上記 (1) は、ルーブリックを用いた学生の自己評価、相互評価と教員の評価をもとに、チームの担当教員が評価を行う。(2) は中間報告会での複数の教員による評価とする。60点以上を合格とする。						
注意点	学科学年横断でのチームによって計画した活動の実施に基づく授業であるため、その取り組み課題を通じて自立・協働・創造にかかる力を身に付け、目標を達成するためには、積極的に関わる必要がある。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	全体授業ガイダンス、チームメンバーの発表、チームビルディング			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		2週	活動目標の決定および活動内容の計画			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		3週	活動目標の決定および活動内容の計画			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		4週	活動目標の決定および活動内容の計画			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		5週	活動目標の決定および活動内容の計画			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		6週	チーム活動			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		7週	チーム活動			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		8週	(中間試験 実施せず)			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
	2ndQ	9週	チーム活動			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		10週	チーム活動			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		11週	チーム活動			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		12週	チーム活動			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		13週	中間報告会			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		14週	振り返り会・これまでの活動のまとめ			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		15週	振り返り会・これまでの活動のまとめ			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
		16週	期末試験実施せず			自立・協働・創造の能力を身に着ける	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	個人の取り組み	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	80	20	0	0	0	0	100